京城日報

陸海協同の大戰果に 御嘉尚の勅語を賜ふ

大元帥陛下におかせられては、陸海軍緊密なる協同の下、台灣沖航空戰における赫々の戰果を嘉し給ひ、御嘉尚あらせられ、廿一日午後梅津、及川兩幕僚長を宮中に召させられ、畏くも寺内南方方面陸軍最高指揮官、豐田聯合艦隊司令長官、安藤台灣軍司令官に對し優渥なる勅語を賜つた。

勅語

大本營發表（昭和十九年十月廿一日十九時）大元帥陛下には本日大本營兩幕僚長を召させられ南方方面陸軍最高指揮官、聯合艦隊司令長官、台灣軍司令官に對し左の勅語を賜りたり

朕カ陸海軍部隊ハ緊密ナル協力ノ下敵艦隊ヲ邀撃シ奮戰大ニ之ヲ擊破セリ

朕深ク之ヲ嘉尚ス

惟フニ戰局ハ日ニ急迫ヲ加フ汝等愈協心戮力以テ朕カ信倚ニ副ハムコトヲ期セヨ

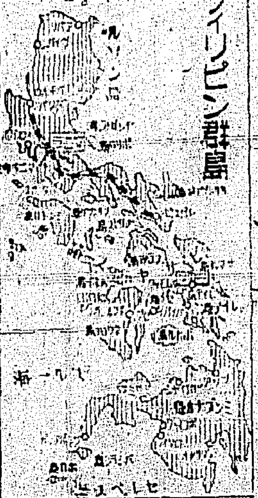
レイテ島タクロバン附近 敵上陸を開始す

わが部隊邀擊、激戰中

大本營發表（昭和十九年十月廿一日十八時）比島レイテ灣內の敵は十月廿日レイテ島タクロバン附近に上陸を開始せり、所在の我部隊はこれを邀擊交戰中なり

密集舟艇團二百隻

強引の上陸、大半を擊摧



敵側も發表

ワシレ、バ… ダバオに敵機

レイテ島一の都市 タクロバン

ヤルート島にも來襲

桂林へ州キロ

佛印大使に松本氏

後任外務次官 澤田氏再任

任外務次官 澤田廉三

任特命全權大使 佛國印度支那へ出張 松本俊一

貴族院副議長に 酒井忠正伯

平田少將新補 所澤陸軍航空整備學校長に

海軍艦政本部長 小野氏を起用

靖國神社の秋・臨時大祭

新祭神 二萬百九十七柱

今宵嚴かに招魂の儀

あす勅使御差遣

大祭委員長・田中靜壹大將

遺族の上京取止め

地方式典に參列、遙拜

半島關係六十三柱

京城護國神社で式典

國民祈念の時間 廿三日午前九時十五分

聖慮の程、恐懼の至り

中井兵務部長談

邑面長の榮譽

社説

聖慮に奮起を誓ふ

軍需會社法 今月中に施行見込

輕金屬増産へ

人事往來

鐵箒

齒痛良藥 今治水

山之内製藥 アルバジル ゲリゾン ネオゲリゾン アチノン ビリチニン アークレミン カンポリジン ブルクラン ビクリス 主要医薬品 山之内製藥株式會社

植物性止血劑 コアグルチン 外傷性出血 手術時出血 喀血・血尿 痔出血 子宮出血

指に効くばかりではない…… 外傷一切に 切傷、打身、捻挫 しもやけ、赤ぎれ等に効果顯然

芳魂永へに安かれ

京城師團合同告別式

鶴ヶ丘に國護る新祭神

遺族の感激

京城縁りの英靈

森田種正伍長以下八柱

光榮に唯挺身

森田伍長嚴父

夢に伜の奮戰

正木兵長の母堂

武勳の轉戰

名譽の坂井伍長

御恩を增産へ

大島義備兵長嚴父

伜に負けずに

山崎曹長の母堂

地下で感涙

大辻兵長未亡人

薫る不滅の勳

遺族の胸に誓ふ弔銃

新嘗祭新穀奉納式

朝鮮神宮で嚴かに執行

捧ぐ新米・新粟

新嘗祭供御新穀奉納式

とみくじ式 福票

身に餘る榮

山根兵曹の嚴父

三分の一を奏任待遇

邑面長優遇 來月中に發令

殊遇に應へよ

政務總監談

遠路ご苦勞さま

驛頭に溫い感謝の出迎

南から北から遺族部隊恙なく入城

遺族日程

東天新生 (49)

山中峯太郎 作
伊勢良夫 畫

忠誠を萃ふ

證券市場 (廿一日)

地株利回表 (廿一日調)

放送

マツヤの粉 マツヤ粉白粉

結核に ネオドラミン

三共の梅肉エキス

火傷に ミスクニ 外傷 皮膚 痔 火傷

男子青壯年募集 日窒金屬工場 咸興職業紹介所

櫻の國 廿六日より 上原謙 高峰三枝子 水戸光子 城寶

熟練工募集 京城工作所

瘀血吸壓法通信教授 瘀血吸壓療法專門學校

謹告 朝鮮重機工業株式會社 佐武信夫

謹告 丸福工業株式會社 佐武信夫

京城府糧穀配給組合

西原計理事務所

朝鮮重機工業

東亞興信所